

ピックアップ展覧会

日本橋高島屋

喜寿記念 西村徳泉 茶陶展 4月24日(水)～30日(火)

平成20年8月に四代西村徳泉を襲名され、日本橋高島屋では今回が初個展。

本展では、代表的な祥瑞染付、金襴手、華やかな色絵の作品はもとより、喜寿を記念した松竹梅や吉祥文などのおめでたい文様をあしらった特別作品を加え、茶碗・水指・花入・香合等の新作百余点をご出展します。

峯田義郎展〈彫刻〉4月24日(水)～30日(火)

白日会会員の峯田義郎先生による彫刻小品とデッサン展。ブロンズや木を使った先生の作風は、風景彫刻のさきがけとも言われ、洗練された感覚と瑞々しい叙情性が、若い頃より話題となる。今展では新作近作の小品及びレリーフと、デッサンを混えて約20点の展観。

「第5回日本橋骨董入札会」

4月24日(水)～4月30日(火)

丸善 日本橋店 3階ギャラリー

誰でも気軽に参加できる骨董入札会。数千円から何百万円までの300点以上の骨董品、美術品が多数あり、初心者からベテランまで自由に参加できます。入札の仕方は、気に入った作品の買いたい値段を紙に書いて投票箱に入れるだけ。手に入るかどうかは展示会が終わってからの楽しみです。入札の醍醐味を味わうことができるチャンスです。

白隠禅師 墨蹟 展

HAKUIN's Zen Art

4月26日(金)～30日(火)まで

古美術 天寶堂

近世禅の最高峰である『白隠禅師』は、富士のお山と並び称される、駿河の国が輩出した偉大な人物で、数多くの禅画を残しており、

それらの作品は、国内外においても大変評価が高く、古くから宗教家、愛好家に愛され続けた、世界的な遺産です。

最近になっても、白隠の研究が進むとともに、美術館で白隠展が催され、白隠の魅力が再認識され始めています。

本展では、より一層、白隠禅師の魅力を感じて頂くために、所載品を含む作品、四十数点をご紹介します。

「めし茶碗～大口コレクションの一部を～」

花筥-HANABAKO-

花筥オーナー大口佐恵が、文様の楽しさから蓋付き茶碗を50年かけて夫婦で収集しました。江戸中期、後期を中心とした伊万里焼を中心にした2000点を超えるコレクションとなり、その中から蓋が無かったり、ホツ（欠け）などのちょっと難のある品を破格値で販売します。

めし茶碗と共に籠も展示しますので、御用命ください。

※金繕いの実演があります。

百の五寸 ～明古染付五寸皿 百撰百趣-II～

100 Kosometsuke ～ Chinese Blue & White Porcelain Small Dishes

for the Japanese Market in Ming dynasty

4月1日（月）～4月30日（火）

井上オリエンタルアート

明時代末期頃の中国染付磁器、「古染付」。直径約15cmの五寸皿百点の展覧会。その作行は自由奔放、エキセントリックで創意に富むものばかり。前回第一回展より約

十年の準備期間を経て第二回展を開催いたします。"百撰百趣"の森羅万象をお楽しみ下さい。

タケダ アキコ日本画展

Akiko Takeda Exhibition

4月15日（月）～28日（日）

翠波画廊

タケダ アキコの描く日本画は、日常と非日常の境界線を、裸足でそっと踏みしめるような、心地よい緊張と興奮に満ちています。静謐な画面世界に漂うのは、淡い幻想にも似た物語。一度彼女の絵を目にすれば、その美しく奇妙な雰囲気惹き込まれ、時をも忘れてしまうことでしょう。

物語は目覚め、日常という名の物語と響き合うータケダ アキコ日本画展、夢のうまれる場所へようこそ。

「九州風化神像と井上洋介木版画冊展」

Statue of Japanese God in Kyushu Prefecture and Yōsuke Inoue exhibition.

4月22日（月）～5月1日（水）

アートスペース繭

九州脊梁山地の奥深く、濃密な分布をみせる仮面や神像、古来からの民間信仰に培われた独特の文化です。村や神社や家などに「神」として伝わったこれらは明治の排仏棄釈の荒波や戦後の信仰心の喪失などの理由により捨てられたり放置されたりして、散逸したものが多数あります。今回の展示は、さまざまな時代の流れの中で風化し、時には焼け焦げていよいよ存在感を増した神像、狛犬など10余点展示いたします。

同時にその独特の画風でたくさんのファンを持つ井上洋介さんの木版画冊店「カード風景」も開催いたしております。

没後 30 年記念 山口長男 展

3月29日（金）～4月28日（日） 日曜休（最終日4月28日は営業）

中長小西

山口長男（1902-83）は、日本戦後美術を語る上で欠かすことのできない、重要な作家です。

日本における抽象絵画の先駆者として、また武蔵野美術大学教授・指導者として、後世に多大な影響を与えました。今なお多くの支持者・愛好者を持ち、人々を魅きつけてやまない作家です。

この度、没後 30 年を記念し、中長小西に於きまして、山口長男展を開催いたします。

1950 年代～晩年までの油彩作品、50 号から小品まで、また、同時に未発表のカット作品（51 点）も合わせて展覧いたします。

Growth

若手作家の新作を中心に展示

Gallery Seek

4月25日（木）～5月6日（月）

G.W.に合わせて、子供部屋にもピッタリな若手作家の新作を展示致します。人気の赤ちゃんをはじめ人体をモチーフに描く佐藤令奈、愛知万博の入口オブジェを手がけた coppers 早川、ポップなアイスキャンディーの様な作品を造る内田有、透明感と幻想的な世界が魅力の豊澤美紗を中心にご紹介します。

高麗と李朝陶磁の小品展

4月26日（金）～5月2日（木）

古美術 京橋

高麗と李朝の比較的小さな陶磁器を展示いたします。小品ながら大きな名品にも負けない、むしろ小さいが故に身近に置くことでその良さを実感できると思います。手元で愛玩されるべきは小珍器が最もふさわしいのかもしれませんが。

高麗青磁はとろみや輝きの釉調に加え、きりっとした品格のある造形が、李朝陶磁器はぬくもりのある肌合いと面取など優しく温かみのある姿が奥深い魅力の中心です。

古の言葉を拝借し「ちいさきものはみなうつくし」と共感頂ければ幸いです。

Another Silhouette -舛の影- 阪東佳代 展

4月18日（木）～28日（日）

春風洞画廊

1982 年和歌山県出身。白日会出品。初個展にあたり「一人の舞踏家の身体を通して、自分の風土・血・性・コンプレックスを見えています。絵を描いていくことは、ずっと昔から持っていた記憶を取り戻して還していくこと。」

※舞踏家 田中誠司氏によるパフォーマンスがあります。

小岩敬之個展

Keino Koiwa solo exhibition

ギャラリー戸村

4月26日（金）-5月18日（土）

小岩敬之は 1982 年生まれ、多摩美術大学を卒業。小岩の作品は深みのある色合いの独特な背景にオリジナルキャラクターを描く。時にはそのキャラクターをコラージュすることで背景が透けるなどの効果でさらに固有の世界観を表現している。制作の仕上げに作品の表面をコーティングすることで、その世界観がさらに際立ってくる。

「石田誠進化論—まことのさけうつわ—」

2013 年 4 月 23 日 (火) - 4 月 28 日 (日)

10 : 00 - 18 : 00 ※会期中無休

ギャラリーこちゅうきょ

愛媛県松山市で作陶をする石田誠の酒器の近作を精選して展示即売します。

定番の技法である南蛮(無釉焼締め)、紅毛手(デルフト風)、白磁に加え、近年はスリップウェアに精力的に取り組み独特の風味豊かな「さけのうつわ」を作家本人とともに精選しました。

日頃の精進と努力の表われかロクロの技術は日毎に洗練され、かつは彼一番の持ち味である「あたたかさ」も健在、まさに座右で毎日楽しんでみたい「さけうつわ」が揃いました。

今回は刷毛目と無地スリップ(唐津風)の二つの新技法による試みにもチャレンジ、皆様のご感想を今からお聞きしたく楽しみにしております。

使い込むほど愛おしく味わい風味を増すうつわは意外と少ないものです。

石田君のうつわはぜひ使い込んで「味」をつけていただきたい素質十分なものです。

どうぞお出かけの上、手に取ってご高覧下さい。

※「大試飲会」があります。